

[成果情報名] キンギョソウ後作におけるトルコギキョウ、シンテッポウユリの不耕起栽培

[要約] トルコギキョウ、シンテッポウユリは、キンギョソウの後作として不耕起栽培することができ、切り花品質は同等である。

[キーワード] キンギョソウ、トルコギキョウ、シンテッポウユリ、不耕起栽培

[担当] 総合農林試験場・作物園芸部・花き科

[連絡先] 電話0957-26-3330、電子メールarakabu@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 花き

[分類] 普及

[背景・ねらい]

キンギョソウの年内開花後の夜温管理による3月開花技術の確立により、キンギョソウの栽培が終了した4月から次のキンギョソウの定植を行う9月上旬までの5ヶ月間を利用し、ハウスの有効利用を図ることができる。

そこで、後作のローテーション品目として、トルコギキョウ、シンテッポウユリを取り上げ、改植を省力化をはかるため不耕起栽培技術を確立する。

[成果の内容・特徴]

1. トルコギキョウ「ピッコロサスノー」、「あすかの吹雪」、「つくしの雪」は、不耕起栽培することができ、切り花品質は慣行栽培と同等である（表1）。また、「ピッコロサローズ」、「エクローサローズピンク」、「エクローサブルーフラッシュ」も同様に不耕起栽培することができ、切り花品質も慣行栽培と同等である（表2）。
2. シンテッポウユリ「雷山1号」は、不耕起栽培することができ、切り花品質は慣行栽培と同等である（表3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 施肥は、生育を見ながら追肥を行う。

[具体的データ]

表1 トルコギキョウ定植時の耕起の有無と切り花品質 (2003年)

品 種 名	試験区	採花日	切り花長	花蕾数	切り花重
ビッコロサスノ	耕 起	7/27~8/10	63.8cm	10.4個	66.3g
	不耕起	7/27~8/10	72.0	12.7	79.8
あすかの吹雪	耕 起	7/28~8/8	71.0	14.5	86.5
	不耕起	7/28~8/8	68.6	16.3	86.3
つくしの雪	耕 起	8/3~8/10	62.9	21.3	97.8
	不耕起	8/3~8/10	64.0	21.9	98.8

注1) 耕起施肥 元肥、追肥 (5/1)

N、P₂O₅、K₂O=16.0、14.0、14.0kg/10a

注2) 不耕起施肥 追肥のみ施用 (5/1)

N、P₂O₅、K₂O=8.0、7.0、7.0kg/10a

注3) 石灰資材は無施用

表2 トルコギキョウ定植時の耕起の有無と切り花品質 (2004年)

品 種 名	試験区	採花日	切り花長	花蕾数	切り花重
ビッコロサローズ	耕 起	7/11~23	65.8cm	12.8個	60.7g
	不耕起	7/11~23	65.5	12.5	58.3
エクロサローズ ^ビ ンク	耕 起	7/14~23	65.4cm	12.4	65.1
	不耕起	7/14~23	68.0	12.1	68.8
エクロサブ ^ル フラッシュ	耕 起	7/14~23	57.7cm	12.9	64.3
	不耕起	7/14~20	59.9	13.6	65.7

注1) 耕起施肥 元肥、追肥 (5/8、5/28)

N、P₂O₅、K₂O=36.0、34.0、34.0kg/10a

注2) 不耕起施肥 追肥のみ施用 (4/26、5/8、5/28)

N、P₂O₅、K₂O=26.0、24.0、24.0kg/10a

注3) 石灰資材は無施用

表3 シンテッポウユリ「雷山1号」定植時の耕起の有無と切り花品質

試験区	採花日	切り花長	花蕾数	切り花重
耕 起	7/13~8/9	90.4cm	2.0個	91.9g
不耕起	7/8~8/9	92.5	2.1	102.1

注1) 耕起施肥 元肥、追肥 (4/20、5/8)

N、P₂O₅、K₂O=38.0、37.0、37.0kg/10a

注2) 不耕起施肥 追肥のみ施用 (4/20、5/8)

N、P₂O₅、K₂O=18.0、17.0、17.0kg/10a

注3) 石灰資材は無施用

[その他]

研究課題名：施設花きの低コスト・省力生産技術確立

予算区分：県単

研究期間：2002~2005年度

研究担当者：出口 浩、諸岡淳司、松尾崇宏